

寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	NPO 法人結のひろば
テーマ名	フリーテーマ
事業名	未来へつなぐ廃校リノベーションプロジェクト
事業費(うち助成金額)	200,960 円 (200,000 円)
ネーミングライツ(該当があれば)	※NPO活動推進室記載箇所



■事業目的 (250文字程度)

本事業は、閉校となった旧跡市小学校を地域資源として再生・活用することで、地域の活力とつながりを再構築することを目的とする。学校はこれまで教育の場であると同時に、集い・交流・記憶の場として地域の象徴的な役割を担ってきたが、閉校によりその機能が失われつつある。加えて、建物の老朽化は景観や安全面の課題を生み、地域コミュニティの衰退や文化的価値の継承にも影響を及ぼしている。

本事業では、校舎の利活用を通じて人の交流や活動を再び生み出し、地域への誇りや帰属意識を醸成するとともに、次世代へとつながる持続可能な地域づくりを推進する。

■事業内容 (350字程度)

住民・関係者参加型ワークショップ事業を、11月2日と1月25日の2回に分けて開催しました。地域住民に加え、外部の専門家や学生などが参加し、活用イメージの共有やアイデア出しを行うとともに、リノベーション作業の一部を体験型で実施しました。第1回では、修繕予定箇所の清掃や備品の搬出、校舎周辺の草刈りなどを行い、安全かつ作業可能な環境整備を実施し、32名(うち地域外13名)が参加しました。第2回では、壁面として再活用する扉の塗装や廃棄物の整理・搬出を行い、76名(うち地域外57名)が参加しました。なお、通路部分の仕上げについては専門的技術を要するため、跡市小学校の卒業生である大工に委託し施工しました。

■事業成果と今後の展望 (450字程度)

本ワークショップは、全2回にわたり開催し、地域住民に加え、東京や広島など地域外からの参加者、高校生・大学生・小学生が参加する多世代・多地域の協働の場として実施した。参加者がともに校舎の環境整備や修繕に関わることで、廃校となった小学校を地域の新たな拠点として再生していく機運の醸成につながった。また、地域内外の人々が同じ空間で活動することで交流が生まれ、学校を媒介とした新たな関係人口の創出にも寄与した。本事業は、校舎の再生だけでなく、地域のつながりや主体的な関わりを広げる契機となる成果を得ることができた。

ワークショップの成果を踏まえ、今後は具体的なリノベーションを進めながら、地域の拠点としての活用を段階的に広げていきます。